



2017 年 冬期スケジュール 国際定期便は過去最高の週 1,360 便超 オセアニア・東南アジア路線など中長距離路線も拡充

関西エアポート株式会社は、国際定期便の 2017 年冬期スケジュールについて、韓国や東南アジアをはじめとするアジア方面の好調に加え、オセアニアやハワイ方面の拡充もあり、過去最高の週 1,362 便を見込んでおります。(12 月ピーク時点)。2016 年冬期スケジュールに比べ週 114 便増加、2017 年夏期スケジュールに比べ週 58 便増加しております。国際旅客便数は週 1,220 便で開港来初めて 1,200 便を超え過去最高、国際貨物便数は週 142 便で冬期スケジュールとして過去 6 番目の便数となっております。

国際旅客便については、中長距離路線では、昨年の冬期スケジュールに運航を再開したニュージーランド航空(NZ)のオークランド線が今年も週 3 便で運航するのに加え、12 月からカンタス航空(QF)のシドニー線が 10 年ぶりに週 3 便で運航を開始します。また、同じく 12 月から、シンガポールの LCC であるスクート(TR)がホノルル線を週 4 便、シンガポール線を週 4 便運航します。いずれも、関西空港からの直行便で、ホノルルへの乗り入れはスクート初となります。このほか、東南アジア方面では、9 月から運航を開始したジェットスター・パシフィック航空(BL)が、冬期スケジュールにおいても引き続きハノイ線を週 4 便、ダナン線を週 4 便運航するのに加え、タイ・エアアジア X(XJ)のバンコク(ドンムアン)線も 12 月から 1 日 1 便増便し、週 14 便のダブルデイリー運航となります。これらにより、東南アジア方面は週 159 便(2016 冬期比: +20 便)となります。

短距離路線では、韓国方面において、引き続き増便が続いており、9 月からエアソウル(RS)が新規就航し、ソウル(仁川)線を週 14 便で運航しているのをはじめ、12 月からジンエアー(LJ)がソウル(仁川)線をさらに増便し 1 日 4 便運航となります。また、中国方面では、深圳航空(ZH)や中国南方航空(CZ)などが増便する予定であり、これらにより、韓国方面は週 353 便(2016 冬期比: +72 便)、中国方面は週 339 便(2016 冬期比: +9 便)となります。

国際貨物便については、ルフトハンザ・カーゴ(LH)が 2018 年 1 月から、フランクフルトに週 2 便で運航を開始します。ルフトハンザ・カーゴの就航は 2014 年 3 月以来およそ 4 年ぶりとなります。

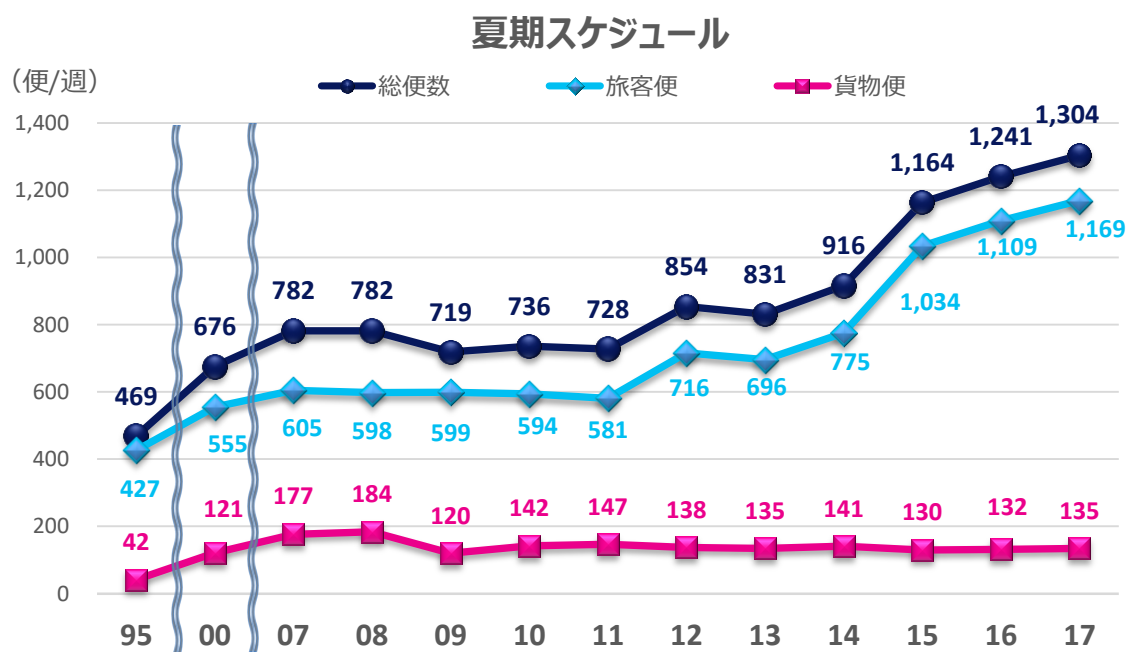
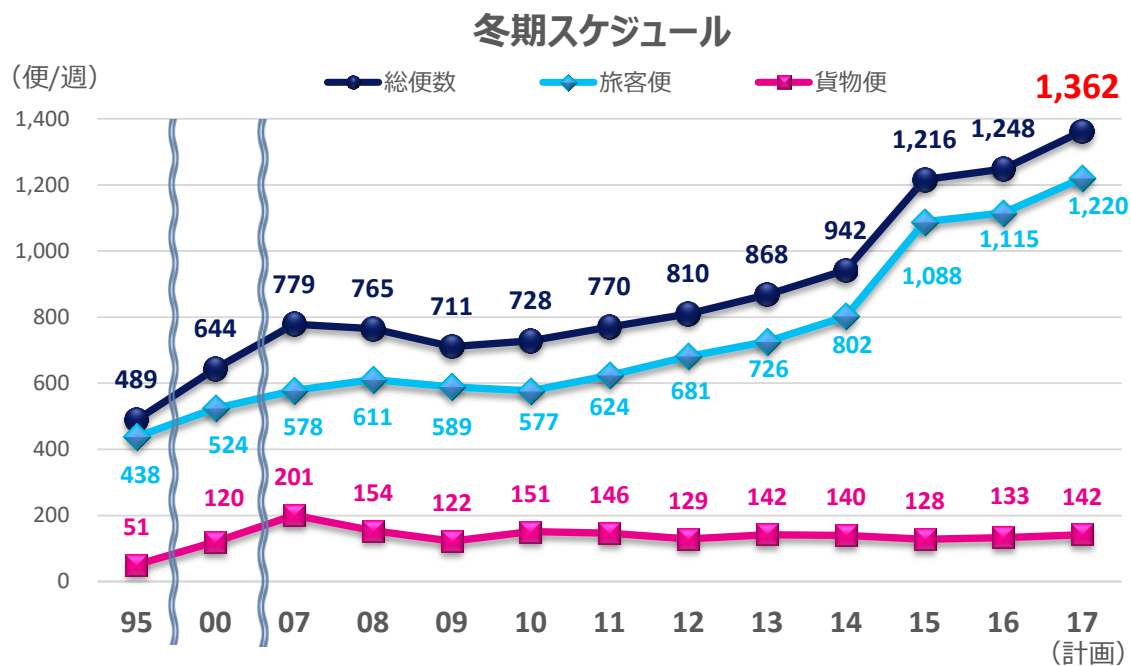
国際旅客便における LCC 便数は週 481 便(2016 冬期比: +89 便)となり、国際旅客便のおよそ 4 割が LCC 便数となっております。

また、関西空港の国内旅客便に占める LCC 便数は、1 日 39 便(2016 年 12 月比+1 便)となっており、全体の半数以上が LCC 便数となっております。

【本プレスリリースに関するお問い合わせ先】

関西エアポート株式会社
コーポレートコミュニケーション部
Tel : 072-455-2201

国際定期便 就航便数の推移



2017年冬期スケジュール 国際定期便の主な増便等

● 旅客便

	航空会社	路線	便／週	増便数／週	就航時期	備考
FSC	 カンタス航空	シドニー	0→3	3	12月14日から	関西国際空港からシドニーへ初めての往復直行便が就航。オーストラリアへカンタス航空の直行便が10年ぶりに復活しました。また当該便は、通年運航になります。
	 大韓航空	仁川	21→28	7	10月29日から	関西＝仁川線が拡充されます。
	 深圳航空	南通	2→4	2	10月29日から	関西＝南通線が拡充されます。
	 中国南方航空	貴陽	1→4	3	10月29日から	関西＝貴陽線が拡充されます。
	 中国南方航空	瀋陽	3→5	2	11月27日から	関西＝瀋陽線が拡充されます。
LCC	 ジェットスター・パシフィック航空	ハノイ	0→4	4	9月1日から	本空港からベトナムへの就航については、ホーチミン、ハノイに次いでダナンが新しく3都市目として加わり、東南アジア方面へのアクセスがますます充実します。ジェットスター・パシフィックの日本の空港への就航は、関西国際空港が初めてです。
	 ジェットスター・パシフィック航空	ダナン	0→4	4	9月2日から	
	 エアソウル	ソウル（仁川）	0→14	14	9月12日から	2016年に国際線の運航を開始した韓国のLCCであり、この度関西国際空港に初就航。今回の就航より、関西＝仁川線がますます拡充されます。
	 タイ・エアアジアX	バンコク（ドンムアン）	7→14	7	12月1日から	関西＝バンコク（ドンムアン）線が拡充されます。
	 ジンエアー	仁川	14→28	14	12月4日から	関西＝仁川線が拡充されます。
	 セブ・パシフィック航空	マニラ	5→7	2	12月15日から	マニラ便が期間増便されます。
	 タイガーエア台湾	台北	14→18	4	12月16日から	関西＝台北線が拡充されます。
	 スクート	ホノルル	0→4	4	12月19日から	スクート初となるホノルル線が就航。加えてシンガポールへの直行便が運航されることにより、シンガポールへのアクセスがさらに便利になります。
	 スクート	シンガポール	0→4	4	12月20日から	

● 貨物便

航空会社	路線	便／週	増便数／週	就航時期	備考
 Lufthansa Cargo Network the world. ルフトハンザ・カーゴ	フランクフルト	0→2	2	1月18日から	約4年ぶりに関西＝フランクフルト直行便が再開します。
 フェデラルエクスプレス	-	52→54	2	10月29日から	週52→54便に増便されます。

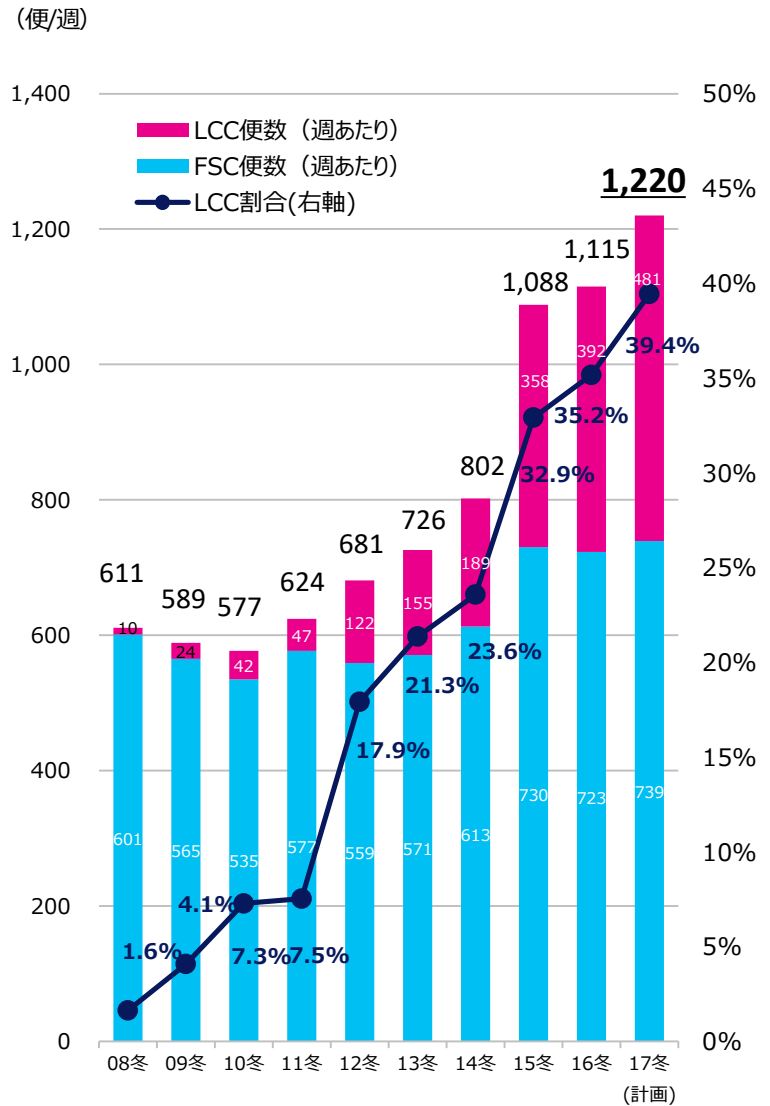
関西エアポート調べのため、政府認可申請中の便や、申請前の計画便も含まれています。

国際定期旅客便におけるLCCの概況及び方面別便数

◇国際線LCC内訳：19社23都市

航空会社	路線	便数/週
ピーチ・アビエーション (計81便)	ソウル (仁川)	28
	釜山	7
	香港	18
	台北	14
	高雄	7
	上海	7
ジェットスター・ジャパン (計12便)	香港	7
	マニラ	5
バニラ・エア	台北	7
チェジュ航空 (計55便)	ソウル (仁川)	27
	ソウル (金浦)	14
	釜山	14
エア부산 (計35便)	釜山	21
	大邱	14
イースター航空 (計28便)	ソウル (仁川)	21
	釜山	7
ジンエアー (計42便)	ソウル (仁川)	28
	釜山	14
ティーウェイ航空 (計49便)	ソウル (仁川)	17
	大邱	11
	グアム	7
	済州	7
	釜山	7
	ソウル (仁川)	14
エアソウル 春秋航空 (計27便)	上海	14
	武漢	2
	天津	4
	重慶	3
	西安	1
	揚州	2
	洛陽 (揚州経由)	1
	香港	28
	台北	18
タイガーエア台湾 (計21便)	高雄	3
	マニラ	7
セブ・パシフィック航空	ハノイ	4
ジェットスター・パシフィック航空 (計8便)	ダナン	4
	クアラルンプール	11
エアアジアX (計15便)	ホノルル	4
	シンガポール (台北経由)	12
ジェットスター・アジア航空 (計17便)	シンガポール (マニラ経由)	5
	シンガポール (バンコク経由)	3
スクート (計14便)	シンガポール (高雄経由)	3
	シンガポール	4
	ホノルル	4
	バンコク (ドンムアン)	14
タイ・エアアジアX	ケアンズ	7
ジェットスター航空		
計		481

◇国際定期旅客便数の推移



◇方面別便数内訳 (国際定期旅客便)

	14冬	(都市数)	15夏	(都市数)	15冬	(都市数)	16夏	(都市数)	16冬	(都市数)	17夏	(都市数)	17冬 計画	(都市数)	構成比
韓国	170	(3)	221	(4)	252	(4)	255	(4)	281	(4)	327	(4)	353	(4)	28.9%
中国	208	(23)	332	(39)	329	(35)	327	(35)	330	(35)	326	(32)	339	(32)	27.8%
香港・マカオ	79	(2)	99	(2)	104	(2)	108	(2)	114	(2)	133	(2)	130	(2)	10.7%
台湾	105	(2)	133	(2)	165	(3)	165	(3)	148	(3)	134	(3)	137	(3)	11.2%
東南アジア	110	(9)	119	(9)	121	(9)	128	(9)	139	(9)	137	(10)	159	(10)	13.0%
北米	35	(3)	40	(4)	35	(3)	48	(5)	33	(3)	46	(4)	41	(3)	3.4%
*うちハワイ	*21	(1)	*21	(1)	*21	(1)	*21	(1)	*21	(1)	*25	(1)	*29	(1)	
欧州	36	(6)	35	(5)	29	(5)	33	(5)	23	(5)	26	(4)	19	(4)	1.6%
オセアニア・グアム	42	(4)	38	(5)	38	(5)	35	(3)	37	(4)	28	(3)	32	(5)	2.6%
その他	17	(4)	17	(4)	15	(4)	10	(3)	10	(3)	12	(4)	10	(3)	0.8%
合計	802	(56)	1,034	(74)	1,088	(70)	1,109	(69)	1,115	(68)	1,169	(66)	1,220	(66)	100.0%
本邦社	4	社	4	社	4	社	5	社	5	社	5	社	5	社	
外航社	44	社	50	社	52	社	52	社	51	社	53	社	53	社	
運航会社	48	社	54	社	56	社	57	社	56	社	58	社	58	社	

* * その他方面には、中東、インド、極東アジアを含む。

国際定期便 航空会社別就航便数

国・地域名	航 空 会 社	2016年冬期 10/30 ～ 3/25 2016年12月（ピーク）			2017年夏期 3/26 ～ 10/28 2017年9月（ピーク）			2017年冬期 10/29 ～ 3/24 2017年12月（ピーク）		
		実績			実績			計画		
		旅客便	貨物便	合計	旅客便	貨物便	合計	旅客便	貨物便	合計
日 本	日 本 航 空	49		49	49		49	49		49
	全 日 本 航 空 輪	49	13	62	49	13	62	49	13	62
	ピーチ・アビエーション	82		82	76		76	81		81
	ジェットスター・ジャパン	21		21	7		7	12		12
	バニラ・エア	7		7	7		7	7		7
	日 本 貨 物 航 空		4	4		4	4		5	5
ア メ リ カ	ユナイテッド航空	19		19	21		21	15		15
	デルタ航空	7		7	7		7	7		7
	ハワイアン航空	7		7	7		7	7		7
	フェデラルエクスプレス		48	48		52	52		54	54
	ユナイテッドパーセルサービス		15	15		15	15		16	16
カ ナ ダ	エア・カナダ				7		7			
	ルフトハンザドイツ航空	5		5	7		7	4		4
オ ラ ン ダ	ルフトハンザ・カーゴ							2*		2*
	KLMオランダ航空	5		5	7		7	6		6
フ ラ ン ス	エールフランス航空	4		4	5		5	4		4
	エア・フランス・インターナショナル	2		2	2		2	2		2
イ タ リ ア	カーゴ・ルックス・イタリア		2	2		2	2		2	2
	フィンランド航空	5		5	7		7	5		5
フ ィ ン ラ ン ド	フィンランド航空	5		5	7		7	5		5
	ターキッシュエアラインズ	4		4						
アラブ首長国連邦	エミレーツ航空	7		7	7		7	7		7
ロ シ ア	S7航空				2		2			
韓 国	大 韓 航 空	64	3	67	53	3	56	60	3	63
	アシアナ航空	42	2	44	40	2	42	42	2	44
	チェジュ航空	42		42	59		59	55		55
	エア・ブサ	28		28	35		35	35		35
	イー・スター航空	21		21	25		25	28		28
	ジン・エア	32		32	28		28	42		42
	ティー・ウェイ航空	28		28	45		45	49		49
	エア・ソウル				14		14	14		14
	中国国際航空	45		45	45		45	45		45
	中国国際貨運航空		5	5		6	6		6	6
	中国東方航空	55		55	56		56	63		63
	中国貨運航空		3	3		4	4		6	6
	中国南方航空	40		40	42		42	47		47
	厦門航空	6		6	8		8	8		8
	上海海航空	7		7	7		7	7		7
	揚子江快運航空		5	5		4	4		5	5
	中国貨運郵政航空		5	5		5	5		5	5
	深圳航空	23		23	23		23	25		25
	山東航空	14		14	14		14	14		14
	春秋航空	38		38	27		27	27		27
上海吉祥航空	28		28	27		27	26		26	
天津航空	6		6	7		7	7		7	
北京首都航空	2		2	2		2	2		2	
奥凱航空	2		2	2		2	2		2	
四川航空	3		3	3		3	3		3	
香 港	ユニットップエアラインズ		3	3						
	キャセイパシフィック航空	42	4	46	43	4	47	42	4	46
	香港エクスプレス	23		23	31		31	28		28
	香港航空	14		14	24		24	21		21
マ カ オ	エア・ホンコン		6	6		6	6		6	6
	マカオ航空	7		7	7		7	7		7
	エバー航空	35	2	37	35	2	37	35	2	37
	チャイナエアライン	39	13	52	41	13	54	39	13	52
フ ィ リ ピ ン	タイガーエア台湾	18		18	17		17	21		21
	フィリピン航空	21		21	21		21	21		21
ベ ト ナ ム	セブパシフィック航空	5		5	5		5	7		7
	ベトナム航空	14		14	14		14	14		14
タ イ	ジェットスター・パシフィック航空				8		8	8		8
	タイ国際航空	14		14	14		14	14		14
マ レ ー シ ア	タイ・エアアジアX	7		7	7		7	14		14
	マレーシア航空	7		7	7		7	7		7
シン ガ ポ ー ル	エアアジアX	10		10	15		15	15		15
	シンガポール航空	14		14	14		14	14		14
イ ン ド ネ シ ア	ジェットスター・アジア航空	17		17	14		14	17		17
	スロート	6		6	6		6	14		14
オーストラリア	ガルダ・インドネシア航空	10		10	9		9	10		10
	エア・インディア	3		3	3		3	3		3
ニュージーランド	カンタス航空							3		3
	ジェットスター航空	7		7	5		5	7		7
ニュージーランド	ニュージーランド航空	3		3				3		3
合 計	週 間 就 航 便 数	1,115	133	1,248	1,169	135	1,304	1,220	142	1,362
	1 日 あ た り 就 航 便 数	159.3/日	19.0/日	178.3/日	167.0/日	19.3/日	186.3/日	174.3/日	20.3/日	194.6/日
	運 航 会 社 数	56社	16社	66社	58社	15社	67社	58社	15社	67社
	就 航 国 （ 地 域 ） 数	20ヶ国	20ヶ国	23ヶ国	20ヶ国	20ヶ国	24ヶ国	19ヶ国	21ヶ国	23ヶ国
	就 航 都 市 数	68都市	44都市	84都市	66都市	44都市	83都市	66都市	45都市	82都市

前年同期比較（16年冬期/17年冬期） 及び 前期比較（17年夏期/17年冬期）

方面	航 空 会 社 名	1 6 年 冬 期（実績）→ 1 7 年 冬 期（計画） 主な増減便内訳（ピーク時点）	1 7 年 夏 期（実績）→ 1 7 年 冬 期（計画） 主な増減便内訳（ピーク時点）
韓 国		+72	+26
	大韓航空		仁川 +7
	アジアナ航空		仁川 +2
	チェジュ航空	仁川 +13	仁川 -4
	エアアサン	大邱 +7	
	イースター航空	仁川 +7	仁川 +3
	ジンエアー	仁川 +10	仁川 +14
	ティーウェイ航空	済州 +7	
	ティーウェイ航空	釜山 +7	釜山 +3
	ティーウェイ航空	大邱 +4	大邱 +2
	ティーウェイ航空	仁川 +3	仁川 -1
	エアソウル	仁川 +14	
中 国		+9	+13
	ピーチ・アビエーション	上海 +2	
	中国東方航空	大連 +7	大連 +7
	中国東方航空	南京/成都 +1	
	中国南方航空	貴陽 +3	貴陽 +3
	中国南方航空	瀋陽 +2	瀋陽 +2
	中国南方航空	大連 +2	
	厦門航空	福州 +1	
	厦門航空	厦門 +1	
	深圳航空	南通 +2	南通 +2
	春秋航空	揚州 +2	
	春秋航空	揚州/洛陽 +1	
	春秋航空	西安 -1	
	春秋航空	長春 -1	
	春秋航空	淮安 -1	
	春秋航空	揭陽 -1	
	春秋航空	福州 -3	
	春秋航空	青島 -3	
	春秋航空	揚州/鄭州 -4	
	上海吉祥航空	南京 -2	南京 -1
	天津航空	天津 +3	
	天津航空	西安 -2	
香港・マカオ		+16	-3
	ピーチ・アビエーション	香港 +4	香港 +4
	キャセイパシフィック航空	香港 -1	香港 -1
	香港エクスプレス	香港 +5	香港 -3
	香港航空	香港 +7	香港 -3
台 湾		-11	+3
	ピーチ・アビエーション	台北 -7	台北 -2
	ピーチ・アビエーション		高雄 +3
	ジェットスター・ジャパン	台北 -7	
	チャイナエアライン		台北 -2
	タイガーエア台湾	台北 +4	台北 +4
	タイガーエア台湾	高雄 -1	
東南アジア		+20	+22
	ジェットスター・ジャパン	マニラ -2	マニラ +5
	セブ・パシフィック航空	マニラ +2	マニラ +2
	ジェットスター・パシフィック航空	ハノイ +4	
	ジェットスター・パシフィック航空	ダナン +4	
	タイ・エアアジアX	バンコク（ドンムアン） +7	バンコク（ドンムアン） +7
	エアアジアX	クアラルンプール +1	
	ジェットスター・アジア航空		マニラ/シンガポール +2
	ジェットスター・アジア航空		台北/シンガポール +1
	スクート	シンガポール +4	シンガポール +4
	ガルーダ・インドネシア航空		ジャカルタ +1
北米（ハワイ含む）		+8	-5
	ユナイテッド航空		サンフランシスコ -2
	エア・カナダ		バンクーバー -7
	エアアジアX	ホノルル +4	
	スクート	ホノルル +4	ホノルル +4
欧 州		-4	-7
	ルフトハンザドイツ航空	フランクフルト -1	フランクフルト -3
	KLMオランダ航空	アムステルダム +1	アムステルダム -1
	エールフランス航空		パリ -1
	フィンランド航空		ヘルシンキ -2
	ターキッシュ エアラインズ	イスタンブール -4	
オセアニア・グアム		-5	+4
	カンタス航空	シドニー +3	シドニー +3
	ニュージーランド航空		オークランド +3
	ジェットスター航空		ケアンズ +2
	ユナイテッド航空	グアム -4	グアム -4
	大韓航空	グアム -4	
その他			-2
	S 7 航空		ウラジオストク -2
貨 物 便		+9	+7
	日本貨物航空	貨物便 +1	貨物便 +1
	フェデラルエクスプレス	貨物便 +6	貨物便 +2
	ユナイテッド・バーセル・サービス	貨物便 +1	貨物便 +1
	中国国際貨運航空	貨物便 +1	
	中国貨運航空	貨物便 +3	貨物便 +2
	ユニトップ・エアラインズ	貨物便 -3	
	揚子江快速航空		貨物便 +1
計		1,248→1,362 【+114便】	1,304→1,362 【+58便】

国内定期旅客便 就航便数

地域	都市	ITAMI								KIX									
		2016年 冬期	2017年 夏期	2017年冬期						2016年 冬期	2017年 夏期	2017年冬期							
				計	JAL	JAC	ANA	IBEX	AMX			計	JAL	JTA	ANA	SFJA	peach	Jetstar	Manilla Air
北海道	札幌（新千歳）	10	10	10	4		6			13	16	15	3		3		6	3	
	女満別										1								
	旭川										1								
	函館	2	2	2	1		1			1	1	1							1
東北・信越	青森	6	6	6	3		3												
	三沢	1	1	1	1														
	秋田	6	6	6	3		3												
	花巻	4	4	4	4														
	山形	3	3	3	3														
	仙台	14	14	14	7		5	2		4	4	3					3		
	福島	4	4	4			2	2											
	新潟	10	10	10	4		3	3											
東京	成田	4	4	4	2		2			12	10	9					3	4	2
	羽田	30	30	30	15		15			13	13	13	3		5	5			
近畿・中国・四国	但馬	2	2	2		2													
	隠岐	1	1	1		1													
	出雲	5	5	5	1	4													
	松山	12	12	12	3		9			1	1	1					1		
	高知	6	6	6			6												
九州	福岡	10	10	10	4		5	1		6	5	5			1		3	1	
	長崎	7	7	7	4		3			1	1	1					1		
	熊本	10	10	10	3		6		1										
	大分	7	7	7	3		3	1											
	宮崎	11	11	11	5		6			1	2	1					1		
	鹿児島	13	13	13	7		6			3	4	2					2		
	屋久島	1	1	1		1													
	奄美大島	1	1	1	1						1	1							1
沖縄	那覇	5	5	5	2		3			13	14	13		3	4		4	2	
	石垣									3	3	3		1	1		1		
	宮古									1	1	1			1				
1日あたり便数		185	185	185	80	8	87	9	1	72	78	69	6	4	15	5	25	10	4
就航都市数		26	26	26	21	4	18	5	1	13	16	14	2	2	6	1	10	4	3

※臨時便・チャーター便を除く。

※各期のピーク時点便数を記載。（17Wのピークは12月）

■大阪国際空港 就航会社・・・日本航空（JAL）、日本エアコミューター（JAC）、全日本空輸（ANA）、アイベックスエアラインズ（IBEX）、天草エアライン（AMX）

■関西国際空港 就航会社・・・日本航空（JAL）、日本トランスオーシャン航空（JTA）、全日本空輸（ANA）、スターフライヤー（SFJ）、Peach（APJ）、ジェットスター・ジャパン（JJP）、バニラ・エア（VNL）

国内定期貨物便 就航便数 ピーク時点（12月）

- 関西－中部－那覇 週5便（片道） 運航会社：ANA
- 関西－那覇 週5便（片道） 運航会社：ANA
- 那覇－関西 週5便（片道） 運航会社：ANA
- 成田－関西 週6便（片道） 運航会社：ANA



関西エアポート株式会社は、関西国際空港（KIX）および大阪国際空港（ITAMI）の運営を新関西国際空港株式会社から引継ぎ、2016年4月1日より両空港の運営会社として事業を開始しました。関西エアポートは、オリックス株式会社と VINCI Airports（ヴァンシ・エアポート）を中核とするコンソーシアムにより設立されました。

関西エアポートは、両空港の安全とセキュリティを常に最優先しつつ、適切な投資と効率的な運営によって国内外からの空港利用者へのサービスを強化し、両空港の可能性を最大限に引き出し、地域コミュニティへ貢献することを目標としています。

関西エアポートは、2015年12月15日付けで新関西国際空港株式会社との間で、事業期間を44年とする「関西国際空港及び大阪国際空港特定空港運営事業等公共施設等運営権実施契約」（実施契約）を締結しています。

詳しくは、関西エアポート株式会社ホームページ: www.kansai-airports.co.jp/ をご参照ください。

本社	大阪府泉佐野市泉州空港北1番地 大阪市西区西本町一丁目4番1号（登記上）	資本金	250億円
代表者	代表取締役社長 山谷 佳之 代表取締役副社長 エマヌエル・ムノント	設立年月日	2015年12月1日
事業内容	関西国際空港および大阪国際空港の運営業務、管理受託業務等	株主	オリックス 40%、 ヴァンシ・エアポート 40%、 その他の出資者 20% ¹



オリックス株式会社について

オリックスは常に新しいビジネスを追求し、先進的な商品・サービスを提供する金融サービスグループです。

1964年にリース事業からスタートして隣接分野に進出し、現在では融資、投資、生命保険、銀行、資産運用、自動車関連、不動産、環境エネルギー関連などへ事業を広げています。また、1971年の香港進出を皮切りに世界36カ国・地域に拠点を設け、グローバルに展開しています。

2014年に50周年を迎え、これからも経営戦略である「金融＋サービス」の加速化、「アジア等新興国の成長を取り込む」を推進し、新たな事業機会の獲得と持続的な成長を目指すと同時に、社会に貢献してまいります。



世界有数の空港運営事業者であるヴァンシ・エアポートは、35空港の開発・運営を行っています。同社の空港ネットワークを構成するフランス13空港、ポルトガル10空港（リスボンのハブ空港含む）、カンボジア3空港、日本2空港、ドミニカ共和国6空港、そしてチリのサンチャゴ空港には、合計で200社を超える航空会社が就航し、2016年の旅客数は1億3,200万人にのぼります。

ヴァンシ・エアポートは総合インテグレーターとして、1万1,000人のスタッフの専門知識と経験を駆使し、空港の開発・資金調達・建設・運営に当たっています。またその投資力、国際ネットワーク、ノウハウを生かして既存空港の運営と機能を最適化し、施設拡充や新規建設を行っています。2016年の連結売上高は10億5,000万ユーロに達します。

詳細は www.vinci-airports.com をご覧ください。

¹ 株式会社アシックス、岩谷産業株式会社、大阪瓦斯株式会社、株式会社大林組、オムロン株式会社、関西電力株式会社、近鉄グループホールディングス株式会社、京阪ホールディングス株式会社、サントリーホールディングス株式会社、株式会社ジェイティービー、積水ハウス株式会社、ダイキン工業株式会社、大和ハウス工業株式会社、株式会社竹中工務店、南海電気鉄道株式会社、西日本電信電話株式会社、パナソニック株式会社、阪急阪神ホールディングス株式会社、レンゴー株式会社、株式会社池田泉州銀行、株式会社紀陽銀行、株式会社京都銀行、株式会社滋賀銀行、株式会社南都銀行、日本生命保険相互会社、株式会社みずほ銀行、三井住友信託銀行株式会社、株式会社三菱東京UFJ銀行、株式会社りそな銀行、株式会社民間資金等活用事業推進機構